

説明書

(令和5年9月14日作成)

(不誠実対応^⑩)

悠生君が命を落とした事故の詳細に関し、公に説明する事を遺族は希望するも、アルプスの森(施設長：宇津慎史)は対応を拒否。事故の詳細情報の公開は、社会的責任であると悠生君の母親(清水亜佳里)が訴えても、それは悠生君の母親(清水亜佳里)の考え方であり、社会一般ではないと、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)は発言。

悠生君が命を落とした事故の詳細に関し、公に説明する事の希望に賛同して頂き既に署名をして頂いている方が既に4000人以上いる状況であるにも関わらず、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)はマスコミを受け入れて行う説明会の開催は社会的必要はないと考えている。

(音声ファイル^⑩) [0:00:00]⇒[0:00:37]

(主な会話内容)

[0:00:00]

児童発達支援管理責任者(宇津雅美)

「それと説明会のやり方、お母さんの、ご両親の言う方法が到底、ウチでは受け入れられないような…」

[0:00:12]

悠生君の母親(清水亜佳里)

「どうして受け入れられないのですかね」

[0:00:14]

児童発達支援管理責任者(宇津雅美)

「マスコミを全部呼んで、…」

悠生君の母親(清水亜佳里)

「社会は、(遺族が希望するのにマスコミを呼ぶことを拒否する) そういうのは(受け入れられない) …」

[0:00:16]

児童発達支援管理責任者(宇津雅美)

「それはお母さんの考え方ですよ」「社会がこうだから、あなたの場合は、って言うのは…」

[0:00:22]

悠生君の父親(清水悠路)

「だって、4000人以上の署名が集まっているのですよ。」

[0:00:25]

悠生君の母親(清水亜佳里)

「社会は、その様にみますよ」

[0:00:30]

誰か不明だが男性の声(アルプスの森側の弁護士の発言かと思われる:当時会場には男性は悠生君の父親以外は、アルプスの森(施設長:宇津慎史)関係者のみ)

小声で「やめておこう」と発言

[0:00:31]

悠生君の母親(清水亜佳里)

「社会の流れと逆行している事をしているのです。それはどうなのですか？」

[0:00:36]

アルプス側の弁護士が介入。結局、児童発達支援管理責任者(宇津雅美)の考えをこれ以上確認できなかった。